

◇寄付先選びに役立つサイト
 □ジャスト・ギビング・ジャパン
<http://justgiving.jp/>
 □READY FOR?
<https://readyfor.jp/>

あしなが育英会の街頭募金は、のぼりやたすきで、団体名や目的などを明示して行う(あしなが育英会提供)



どの団体に寄付をすればいいか迷う人も多いだろう。東日本大震災後、寄付先を選びやすくする工夫が見られる。注目されているのが、寄付仲介サイト。サイトには、一定の掲載基準をもとに寄付先の団体が選ばれ、団体の活動内容などが掲載されていることが多い。例えば、一般財団法人「ジャスト・ギビング・ジャパン」(東京)は、非営利の団体であること、ネット上で財務報告をしていること、団体名義で金融機関の口座がある

ことを、団体の掲載条件にしている。支援したい企画を一覧から選んで寄付ができるサイトもある。IT関連会社のオーマ(東京)が運営するREADYFOR? (レディフォア)のサイトによれば、「被災地にとびきり美味しい飯と、集まる場を。」など、日々の活動を日記のように書き込んでおり、サイトを見た人が寄付をするかどうかが判断する参考に

独自基準で団体厳選

調べ隊 生活

仲介サイト 選びやすく

シャンティ国際ボランティア会は、移動図書館車を

運転して活動内容を伝えた(東京都新宿区で)

震災寄付金 使途明確に



8月上旬、東京都内の住宅街にある駐車場で「移動図書館車」が公開された。公益社団法人「シャンティ国際ボランティア会」(東京)が、図書館や書店が災した岩手県内で巡回させている車だ。車内には「棚

より購入した本です」の掲示。約900人から計800万円の寄付を受けた。インターネットなどで車の公開を知った寄付者が次々訪れて、本を手に取った。

「万円を寄付したという

人が訪れる」と、同会広報課長の鎌倉幸子さんがお礼と

ともに寄付金の使途を説明。「移動図書館車を走らせるのも一日約8000円かかる。情報を開示することで納得してもらい、寄付が続くとありがたい」と

鎌倉さんは期待する。

震災後に増えた家計からの寄付金は伸び悩んだ。総務省の家計調査によると、

2人以上世帯の平均寄付金額は昨年2月、126円だったが、震災のあった3月

は2083円に急増し、4

月も1580円と高水準だ

った。ところが、5月は6

22円と急減。6月から今

年6月までは100円台か

ら300円台と震災前の水準にとどまっている。

寄付文化の普及を目指す

プロジェクト」の支援に

参

加

していないため、寄付金を活用のため費用にあてているこ

とを説明する」という。

「赤い羽根」で知られる

中央共同募金会(東京)

は、被災地で活動する団体などを支援する募金を設け、ホームページで助成先の活動内容や成果などを紹介している。また、助成を受け活動する人と寄付者との交流会を東京などで開いた。

中央共同募金会企画広報部長の阿部陽一郎さんは

「フェイスブックなどの新しいメディアも活用する一方、高齢者に配慮して電話での問い合わせに応じるこ

とも大切。費用対効果も考

えつつ、丁寧なコミュニケーションを取ってほしい」と話す。

日本赤十字社など4団体に寄せられた支援金は、厚生労働省がホームページで市町村別の配布状況を公表。支援金は8月5日現在で3091億円、このうち2596億円が自治体に送られた。

が大事だ」と指摘する。協会は昨年5月、全国の約2万人を対象に寄付意識を調査。寄付先を選ぶ際に重視することは「寄付の使い道が明確で、有効に使ってもらえること」が51・5%（複数回答）で最も高かった。被災地の仮設住宅で交流サロン事業などを展開する「アドラー・ジャパン」(東京)はこの1年間に全国で約60回の活動報告会を開いた。報告会会場に募金箱を設けるといで、多いときで10万円集まるという。寄付の申込書類を送つてほしいといふ人も多い。「後で謝解を

が大事だ」と指摘する。協会は昨年5月、全国の約2万人を対象に寄付意識を調査。寄付先を選ぶ際に重視することは「寄付の使い道が明確で、有効に使ってもらえること」が51・5%（複数回答）で最も高かった。被災地の仮設住宅で交流サロン事業などを展開する「アドラー・ジャパン」(東京)はこの1年間に全国で約60回の活動報告会を開いた。報告会会場に募金箱を設けるといで、多いときで10万円集まるという。寄付の申込書類を送つてほしいといふ人も多い。「後で謝解を

が大事だ」と指摘する。協会は昨年5月、全国の約2万人を対象に寄付意識を調査。寄付先を選ぶ際に重視することは「寄付の使い道が明確で、有効に使ってもらえること」が51・5%（複数回答）で最も高かった。被災地の仮設住宅で交流サロン事業などを展開する「アドラー・ジャパン」(東京)はこの1年間に全国で約60回の活動報告会を開いた。報告会会場に募金箱を設けるといで、多いときで10万円集まるという。寄付の申込書類を送つてほしいといふ人も多い。「後で謝解を